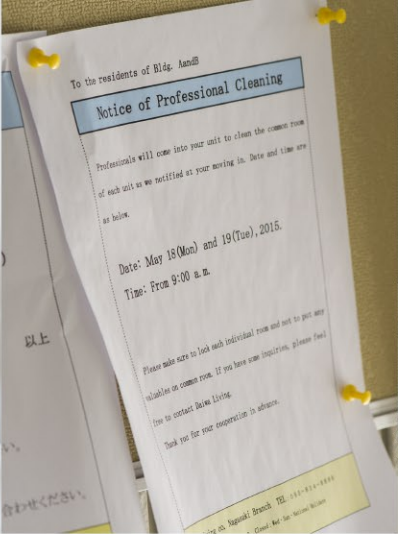




個室のようす。隣の個室に友達がきてても音が気にならないくらい壁は厚いか。



掲示板には日本語と同じ内容の英語が必ず貼り出されます。



文教キャンパスから徒歩15分。チョコレート色の壁がおしゃれな2棟建てです。

Topics  
多文化社会学部

Nagasaki University  
School of  
Global  
Humanities  
and  
Social Sciences

# 日本人学生と留学生が 共同生活 国際学寮 ホルテンシア、 始動!



長崎市の花「紫陽花」のオレンジ語「hortensia」から名付けられた、国際学寮ホルテンシアが、今年度からオープンしています。多文化社会学部の一年生は原則全員がここに同居することになっており、留学生との共同生活がスタートしました。一ユニットに四つの個室と共有部分があり、そこで暮らす四人のうち、かならず外国人留学生が一人入る「混住」型。それぞれの個室はありますが、キッチンやリビングなどは共有です。さて、学生たちはどんな生活を送っているのでしょうか。日本人学生三名、モンゴル人学生一名の男子学生ユニットをのぞかせてもらいました。

木村友紀さん／新築なのでキレイで快適ですよ。芝生の中庭には自然に留学生が集まり、テンポの速い英語で会話していて、最初は正直とまどいまして。でもルームメイトとの会話はゆっくりでなんとか意識疎通もできました。身の周りにいろんなレベルの英語が飛び交っていて、だんだんと耳が慣れてきている実感があります。香月卓さん／窓を開けると英語が飛び込んでくる。もう、それは雑音ではないですよ。日本に居ながら、こういう環境は、これまでの英会話力が試せます。Anir Kherebortar(アニール)さん僕は医学部ですが、これまでは坂本の

1室バリアフリーのユニットもあり。床もフラットでシステムキッチンが低めと使い勝手よし。(こちらのみ3人ユニット)

国際交流会館にいました。ルームメイトとの会話がうまく通じないときは：ほら、アレが……。香月／そう！ホワイトボードと辞書。けっこう早い時期から役に立ったね。アニール／会話が通じなくても書いて調べれば、だいたい通じる。木村／僕は高校のころは人とのコミュニケーションが苦手でした。でもここでは自分から話しかけないと何もできないので、だんだん積極的になりました。コミュニケーションが得意じゃない人こそ、この寮生活は向いているかもしれません。アニール／みんなが実家に帰ると、お土産を持ってきてふるまうのが楽しい。僕もモンゴルのお茶やヌードルスープを買ってきてみんなに食べてもらいました。留学生だけの寮生活と比べ、それぞれに良さがありますよ。木村／料理も、それなりにみんなで作るしね。エビチリとか、この前はパースデーケーキにも挑戦したし。香月／わからなくなると実家に電話して「母の力」を借ります(笑)アニール／坂本キャンパスでの授業は朝早くからあるし、文教キャンパスでは日本語の授業。一日はけっこうハードですが、自転車で行き来するので問題なしです。香月／アニールはがんばってるよね。同世代のがんばりは刺激になります。

国際学寮  
ホルテンシア

長崎市白鳥町8-77(A棟)、8-78(B棟)  
収容人数135人(34ユニット)  
問/学生支援センター(学生支援課生活支援班)  
TEL.095-819-2103

ホルテンシアでは地域との交流を積極的にやってみようという大きな特徴の一つ。木村さんは地域交流を推進する係にもなりました。木村／周辺は高齢の方も多いため、地域の餅つき大会の「つく方(笑)」とかね。僕ら若者の出番でしょう。そのほか、中学生に英語を教える講座なども計画中です。先日は、留学生も含めた二十人ほどで被爆七十周年記念の動画にも出演する、名付けて「くすのきプロジェクト」にもチャレンジ。長崎出身のアーティスト福山雅治さんの楽曲「くすのき」をリリースしつつ歌い繋いでいく動画で、長崎市長の次に出演したのだそうです。今号の表紙も掲示板のよびかけに応じた学生たちが出演してくれました。文化の違いをコミュニケーション力でのりこえていくホルテンシアという学びの場から国際感覚を持った人材が育っていきます。

大きな集会室にはスクリーンやキッチンも。ちょっとした集まりやイベントもできます。

